

令和6年度 学習計画(シラバス)

教科	科目	対象学年 コース	単位数	担当者氏名	教科書 著者 発行所	使用教材・発行所
地理歴史	歴史総合	2年(理系)	2	岡部 英人	「わたしたちの歴史 日本から世界へ」市川大裕ほか12名(山川出版社)	「わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート」(山川出版社)
指導の重点		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
評価の観点		・知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。			
		・思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。			
		・主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
学習の評価		1. 定期考査、小テストで「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 2. 協同学習等への参加態度、レポート提出等で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 3. 1の評価に2を加味し、総合的に評価する。				
学期	月	考査	単元	学習内容	到達度目標 学習の目標(ねらい)	
1	4	中間	第1部 近代化と私たち	1 18世紀の世界とアジア 2 産業革命 3 アヘン戦争と日本 4 日本の開国	・自由・制限の観点から、18世紀のアジアにおける経済や文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係などについて理解する。(知識・技能) ・開港後の社会混乱について理解できている。(知識・技能) ・近隣諸国との外交を具体的な事例にもとづいて理解できている。(知識・技能)	
			5 日本開国期の国際情勢 6 開国後の日本社会 7 市民革命と国民統合 8 明治維新 9 富国強兵と文明開化 10 日本の明治初期の外交	・貿易に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、諸外国の貿易政策をめぐる国際間ないしは国内での意見の相違を読み取り、18世紀以降の世界分割の特徴や列強間の国際関係を考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・産業革命による技術革新の連鎖や世界の結びつきの変化について考察し、表現できている。(思考・判断・表現) ・資料や図版などから、産業革命による生産様式の変化や貿易への影響について考察し、表現できている。(思考・判断・表現)		
			11 大日本帝国憲法の制定 12 日本の産業革命と日清戦争 13 帝国主義 14 日露戦争と韓国併合	・開国期の国際情勢が日本に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) ・18世紀の国際関係や戦争の経過について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		
	7	期末	第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	1 大衆運動の芽ばえ 2 第一次世界大戦 3 第一次世界大戦と日本 4 ロシア革命とその影響	・自由・制限の観点から、18世紀のアジアにおける経済や文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係などについて理解する。(知識・技能) ・開港後の社会混乱について理解できている。(知識・技能) ・近隣諸国との外交を具体的な事例にもとづいて理解できている。(知識・技能)	
			5 社会運動の広がり 6 国際協調 7 アジアの民族運動 8 大量生産・大量消費社会 9 世界恐慌	・貿易に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、諸外国の貿易政策をめぐる国際間ないしは国内での意見の相違を読み取り、18世紀以降の世界分割の特徴や列強間の国際関係を考察し、表現している。(思考・判断・表現) ・産業革命による技術革新の連鎖や世界の結びつきの変化について考察し、表現できている。(思考・判断・表現) ・資料や図版などから、産業革命による生産様式の変化や貿易への影響について考察し、表現できている。(思考・判断・表現)		
			10 独裁勢力の台頭 11 日本のアジア侵出 12 第二次世界大戦 13 第二次世界大戦と日本 14 第二次世界大戦の終結	・開国期の国際情勢が日本に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) ・18世紀の国際関係や戦争の経過について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		
			15 戦後国際秩序 16 冷戦の始まり 17 日本の戦後改革と日本国憲法 18 日本の独立			
2	10	中間	10 独裁勢力の台頭 11 日本のアジア侵出 12 第二次世界大戦 13 第二次世界大戦と日本 14 第二次世界大戦の終結	・対立・協調の観点から、平和や国際理解のために懸命に尽くした人々に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わるグローバル化の歴史を理解できている。(知識・技能) ・開発・保全の観点から、地球環境問題に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わるグローバル化の歴史を理解できている。(知識・技能)		
			15 戦後国際秩序 16 冷戦の始まり 17 日本の戦後改革と日本国憲法 18 日本の独立			
	12	期末	第3部 グローバル化と私たち	1 第三世界の登場 2 冷戦の固定化と「雪どけ」 3 冷戦の展開	・対立・協調の観点から、平和や国際理解のために懸命に尽くした人々に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わるグローバル化の歴史を理解できている。(知識・技能) ・開発・保全の観点から、地球環境問題に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わるグローバル化の歴史を理解できている。(知識・技能)	
3	1	学年初	4 55年体制と安保闘争 5 高度経済成長の光と影 6 ベトナム戦争とアメリカ 7 経済構造の変化 8 日本の経済大国化	・諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、核兵器の拡散と冷戦の関係、平和や国際理解のために尽くした人々の行動などに着目して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現できている。(思考・判断・表現) ・資料や図版などから、現代の地域連合の特徴について考察し、表現できている。(思考・判断・表現)		
			9 アジアの経済成長 10 社会主義の停滞と新自由主義 11 冷戦の終結 12 冷戦後の地域紛争	・SDGsとも関連させながら、多様な人々が共存する社会の発展について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) ・現代の日本が抱える諸課題の解決に向けて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		
	3	学年末	13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題			